

研究部便り

第4号

村上中等教育学校 研究部

NIE (Newspaper In Education) **本格的にスタートです!**

■ NIEって何？

NIE（エヌ・アイ・イー）とは、「Newspaper in Education」の略称です。「教育に新聞を」と訳し、学校などで新聞を教材として活用することです。1930年代にアメリカで始まり、日本では1985年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。現在、日本をはじめ世界各地にNIEの推進組織が設けられ、事業展開されています。

具体的には、授業で新聞を教材として使用する、新聞や新聞記者について学ぶ、新聞づくりを通して学ぶ、授業以外で新聞を活用するなどといった内容になります。

■ 村上中等では何をするの？

① 身近に新聞がある環境作り

2階フリースペース周辺に「NIEコーナー」を設置しました。NIEコーナーには、その日の朝刊6紙（朝日、読売、毎日、日報、日経、産経）と、過去の新聞が設置してあります。授業での調べ学習はもちろん、朝学校に来たとき、休み時間、放課後など、いつでも新聞を読むことができる環境を整えました。6紙同時に目にする機会はなかなかないと思います。各紙の新聞を比べて読んでみるのもおもしろいかもしれません。



② 前期生対象「NIEタイム」

毎週月曜日と金曜日の朝読書を「NIEタイム」とします。NIEタイムでは、自分の気になる新聞記事をスクラップし、自分の考えや感想を書きます。基本的には各家庭で購読している新聞を持ってきてスクラップをします。持ってくる新聞はその日のものでなくて構いませんし、持って来れない生徒は学校にストックしてある新聞を使ったり、仲間から記事をもらったりして構いません。週に2回のスクラップを通して、新聞を読む習慣をつけます。

③ 授業内での新聞活用

各教科、道徳、総合、学活など、様々な場面で新聞を活用した授業を行います。特に「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」では、中高一貫校の特徴である、「6年間のつながり」を意識した活動を行っていきます。